

日本薬学会関西支部奨励賞受賞者

年度	部門	受賞者	所属	演題
2025	1	池田 拓慧	京大院薬	新規がん幹細胞スフェア形成阻害剤ストレプトスフェリン類の開発と構造活性相関研究
2025	1	細谷 昌弘	塩野義製薬	テイラー渦流リアクターを用いた不均一系フロー反応の制御
2025	1	有地 法人	京大院薬	N-アミノピリジニウムイリドを三重項ナイトレン前駆体として利用する光化学的S-イミノ化反応
2025	2	扇田 隆司	京都薬大	$\alpha$ シヌクレインの凝集・線維化過程を制御する物理化学的因子の解明
2025	3	小池 敏靖	神戸薬大	FAM20Cによるコンドロイチン硫酸生合成制御と骨硬化症との関連
2025	4	島田 紘明	近畿大薬・薬物動態学研究室	アシルグルクロン酸抱合体による特異体質性薬物毒性を予測・回避する手法の確立
2024	1	黒田 悠介	京大院薬/京大白眉センター	アゾ-エン反応を起点とした反応開発
2024	1	阿部 将大	武庫川女大薬	脱スルホニル型 Smiles 転位を活用したニトリル合成における分子構造の最適化
2024	1	鹿又 喬平	阪大院薬	Pickeringエマルションを反応場とする動的速度論的光学分割の新戦略
2024	3	上村 健太郎	阪大感染症総合教育研究拠点	一本鎖プラス鎖RNAウイルスに対する広域抗ウイルス剤の同定 -2-Thiouridineはプラス鎖RNAウイルスの増殖を特異的に阻害する-
2024	4	森下 将輝	神戸薬大・薬剤学研究室	生体直交型反応を基盤とするプロバイオティクス由来細胞外小胞の機能改変と免疫療法への応用 - -ハイドロゲル化と免疫賦活性評価-
2023	1	大澤 昂志	阪大院薬・生物有機化学分野	DNAコード化ライブラリーへの応用を志向したクマリン-オリゴ核酸コンジュゲートの合成
2023	1	姜 法雄	神大院農	Claisen転位環化カスケードを介したイソフラボノイド天然物の収束的分岐合成
2023	3	河合 洋幸	大阪公大院医・脳神経機能形態学研究室	快/不快情報処理における正中縫線核セロトニン神経の役割

日本薬学会関西支部奨励賞受賞者

2023	4	馬場 廣海	マルホ(株)/研究部モダリティ研究グループ	デジタル技術を駆使した外用製剤の処方設計
2022	1	菊畠 孝太郎	立命館大薬・精密合成化学研究室	脱炭酸的アリール化による $\alpha,\alpha$ -ジフルオロカルボニル化合物のメタルフリー合成
2022	3	武村 直紀	阪大院薬・生体応答制御学分野	パイロトーシスを標的とする新たな機序で働く抗炎症薬の開発
2022	4	植山（鳥羽）由希子	阪大院薬・分子生物学分野	幹細胞を用いた新規肝細胞モデルの構築とその創薬応用
2022	4	山本 和宏	神大病院・薬剤部	分子標的型抗がん薬による間質性肺疾患発症の分子機構に基づく予測法の開発 -mTOR阻害薬による間質性肺疾患とSTAT3の関連-
2021	1	中村 光	近畿大薬	カルコンの酸化的転位反応を利用した複素環の合成と全合成への応用
2021	2	木口 裕貴	神戸薬大・生命分析化学研究室	免疫測定法の高感度化に資する高親和力変異抗体探索システム -Clonal Array Profiling (CAP) 法の構築と応用-
2021	2	山崎 俊栄	神戸薬大・薬品物理化学研究室	脂質ラジカルを生体内検出する放射性プローブの開発 -脳虚血再灌流モデルマウスでの評価-
2021	3	平井 敏郎	阪大微生物病研究所・BIKEN次世代ワクチン協働研究所	表皮内ニッチをめぐる競合が、抗原特異的T細胞保存の選択圧として働く
2021	3	浅岡 希美	京大院医・システム神経薬理学分野	NOX1/NADPH oxidaseはドパミンD2受容体を介した線条体のシナプス増強を促進することで強迫様行動の誘発に関与する
2021	4	芳賀 優弥	阪大院薬・毒性学分野	非小細胞肺癌における可逆的薬剤耐性細胞の解析
2021	4	河野 裕允	神戸薬大・薬剤学研究室	磁性リポソームを利用した標的組織内滞留型磁性化間葉系幹細胞の作製 -骨格筋内滞留性および抗炎症効果の評価-
2020	1	浜田 翔平	京都薬大・創薬科学系薬化学分野	ニトロキシル型酸化触媒によるp-メトキシベンジル基の脱保護
2020	2	大竹 裕子	近畿大薬・医療薬学科製剤学研究室	クリスタルエンジニアリングを基盤とした吸入用ナノ結晶製剤の開発と肺線維症治療への応用
2020	3	幸 龍三郎	京都薬大・生化学分野	上皮間葉転換を司るTGF- $\beta$ シグナルの過剰活性化機構の解明

日本薬学会関西支部奨励賞受賞者

2020	3	坪田 真帆	近畿大薬・病態薬理研究室	オキサリプラチン誘起末梢神経障害におけるHMGB1の役割とトロンボモジュリン/トロンビン系による抑制的制御
2020	4	内山 博雅	大阪薬大・製剤設計学研究室	膜透過性改善を指向したコアモルファス技術の構築とエマルションへの応用
2020	4	井上 大輔	立命館大薬・分子薬剤学研究室	鼻腔内生理機能を考慮した経鼻吸収予測システムの開発 -In vitro膜透過性評価によるin vivo鼻粘膜透過速度の推定-
2019	1	葉山 登	武庫川女大薬	多機能性ボロン酸触媒による不斉共役付加反応の開発とキラルスイッチ反応への展開
2019	1	松岡 純平	京大院薬・ケモゲノミクス・薬品有機製造学	dictyodendrin類の多様性志向型全合成
2019	2	緒方 文彦	近畿大薬・公衆衛生学研究室	リン酸イオンと層状複水酸化物との相互作用の解明
2019	2	森本 和志	京大院医・分子細胞情報学	プロスタノイド受容体活性化機構の解明
2019	3	肱岡 雅宣	立命館大薬・薬効解析科学研究室	ロイコトリエンB4およびその受容体を標的とした脳内出血治療薬の創薬研究
2019	3	小池 敦資	大阪薬大・病態生化学研究室	マクロファージにおける炎症誘導性細胞死の分子機構の解明
2019	3	間下 雅士	同志社女大薬・薬理学研究室	免疫細胞に発現する $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体のT細胞分化に及ぼす影響の解明
2019	4	池田 義人	神戸薬大・医薬細胞生物学研究室	タウロヒオデオキシコール酸が有する胆汁中リン脂質排出促進作用とその機序 -胆汁酸肝組織障害に対する治療薬開発を目指したABCB4活性化分子の探索-
2018	1	隅田 有人	理研・生命機能科学研究センター	再利用可能な有機ホウ素化合物ボラセンを用いた選択的有機基転移剤の開発
2018	1	山口 卓男	阪大院薬・生物有機化学分野	薬物標的タンパク質の同定を志向した新規アフィニティーラベル化法の開発
2018	1	安井 基博	京大院薬・薬品分子化学分野	全シス置換シクロプロパン構築法の確立とAvenaolの全合成
2018	2	近藤 直哉	大阪薬大・生体分析学研究室	疾患におけるマトリックスメタロプロテアーゼ発現のインビボ定量法構築を目的とした核医学イメージングプローブの開発

日本薬学会関西支部奨励賞受賞者

2018	3	原 雄大	近畿大薬・細胞生物学研究室	ドパミン神経系賦活化薬の慢性投与は自閉症モデルマウスの行動異常を改善する
2018	3	勢力 薫	阪大・未来戦略機構第二部門	高精細全脳イメージング技術FASTの開発と精神疾患モデルマウスの病態解析
2018	4	三谷 成二	阪大院薬・分子生物学分野	ヒトiPS細胞からzone特異的肝細胞の作製－薬物性肝障害の効率的な予測に向けて－
2018	4	宗 可奈子	京大院薬・統合薬学教育開発センター	しびれ発症におけるTRPA1の関与とそのメカニズム解析
2017	1	池田 朱里	Univ.at Albany	新規3,3,3-trifluoropropenyl化剤の開発 －創薬を指向した医薬品分子のTFPE化とその効果－
2017	2	門田 和紀	大阪薬大・製剤設計学研究室	噴霧乾燥法による糖を基剤とした吸入粉末製剤のための中空粒子設計
2017	3	佐藤 亮介	近畿大薬・分子医療・ゲノム創薬学研究室	RNA結合タンパク質の時間・空間的制御を介したMAPKシグナル調節機構－RNA結合タンパク質の局在制御機構と創薬への応用－
2017	4	田中 晶子	京都薬大	処方最適化による粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性の改善 －製剤添加物による吸収性の精密制御の可能性－
2017	4	志水 陽一	京大病院・放射線部	質量イメージングによる低酸素領域集積性ニトロイミダゾール薬剤の集積機序の解明
2017	4	椿 正寛	近畿大薬・薬物治療学研究室	慢性骨髄性白血病でのBCR-ABL阻害薬耐性にMET/ERK及びMET/JNK経路活性化が関与するベンザインの効率的発生法の開発
2016	1	高木 晃	阪大院薬	
2016	2	渡邊 裕之	京大院薬	アルツハイマー病脳のβアミロイド、タウの生体イメージングに資する放射性プローブの開発
2016	3	立花 雅史	阪大院薬・薬剤学分野	HMGB1-TLR4シグナルによる骨髄由来免疫抑制細胞の機能制御
2016	3	道永 昌太郎	大阪大谷大薬・薬理学講座	
2016	4	中川 俊作	京大病院・薬剤部	流体衝撃による脳傷害後のマウス脳浮腫に対するエンドセリンET B受容体遮断薬の効果－血管透過性亢進因子VEGF-Aの関与－ 慢性腎臓病に伴う尿細管障害および間質線維化のバイオマーカーの同定

日本薬学会関西支部奨励賞受賞者

2016 4 亀井 敬泰 神戸学院大薬・薬物送達システム学研究 細胞膜透過ペプチドを基盤とするペプチド医薬のNose-to-  
室 Brain送達法の開発と認知症治療への応用